

# 現代日本の漢字文化

コンピュータや携帯電話の普及により、「漢字は機械で処理できない」という前提がくずれた。また「憂鬱」などの漢字も書けるようになり、人々の漢字に対する敷居が低くなった。かつて「遅れた文字」とされてきた漢字はいま完全に復権をとげ、漢字に対する認識が確実に変化しつつある。このような時代に漢字とどのようにつきあうべきかを考えてみたい。

講師 阿辻哲次氏（京都大学大学院 教授）

- 日 時 2011年11月16日（水）  
午後2：00～4：00
- 会 場 武庫川女子大学 中央キャンパス  
文学1号館 LI-605教室  
阪神鳴尾駅下車 徒歩7分
- 申込方法 電話・ファクシミリ・メール・はがきのいずれかで  
下記あてに申し込んでください。

---

主催 武庫川女子大学言語文化研究所

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46  
TEL 0798(45)3536(直通)  
FAX 0798(45)3574  
E-mail ilc@mukogawa-u.ac.jp  
URL <http://www.mukogawa-u.ac.jp/~ILC>